

SLA通信

第34号

〒460-0024 名古屋市中区正木1-2-8

(財) シニアルネサンス財団内

TEL 052-332-7883

平成17年度前半の活動報告

中部シニアライフアドバイザー協会
会長 浅野 澄子

師走に入り何かと忙しさを感じる今日この頃ですが、皆様ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

はじめに、9月以降当協会が実施いたしました主な活動について、ご報告させていただきます。

9月19日・20日の万博見学・各協会間の情報交換会・懇親会、10月7日の臨時総会、10月22日・23日の全国一斉電話相談等です。

これらの活動が無事終える事が出来たのは皆様のご支援とご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

臨時総会では、基金有効活用について数年前から話題とされてきた懸案を、今回十分検討していただいた結果、可決し、承認が得られました。今後、幹事会は活性化委員会と協力し、協会全体に有意義な事業を推進していくための補足資金に充当したい所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

愛・地球博見学と交流会につきましては、多数のSLAの会員の参加を仰ぎ、非常に有意義で楽しい会を開催出来ました事を、衷心からお礼申し上げます。

特に遠方からご出席くださいました、関東・関西両SLAの皆様との出会いが、非常に有意義だったと思っています。これを機会に、各協会間との交流が活発になる事を願っています。

人は誰でも大なり小なり夢を抱いています。それを実現するために努力し達成すれば、生きがいを感じ、充実感を味わい、人生に豊かさをまして行く事とおもいます。

SLAの活動において、実現可能な夢を持ち、喜びや楽しみが味わえる事を願いつつ、進みたいと思っています。

心身の健康に留意しながら、生き生きシニアを目指して企画して参ります。



第7回「シニアひとりくらしの不安と悩み110番」相談件数集計表

実施日：平成17年10月22日（土）～23日（日）

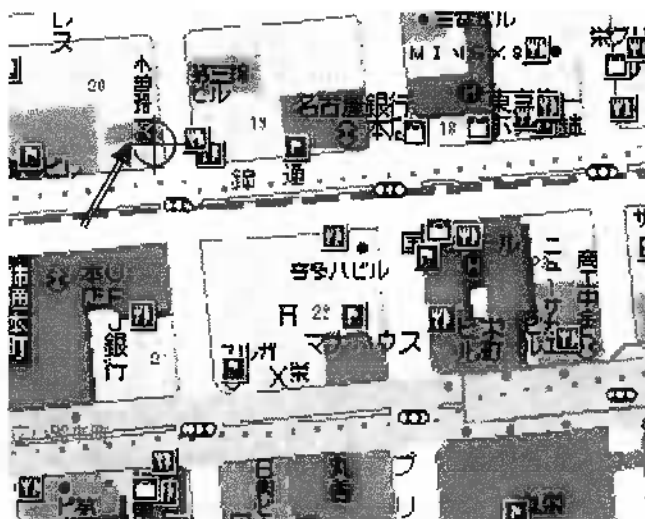
於：中部シニアライフアドバイザー協会

区分	項目	合計	性別		年代別区分				誰についての相談か			
			男	女	50代	60代	70代	80代以上	男		女	
									本人	家族	本人	家族
健康	不安	7		7		3	4				7	
福祉介護	公的介護保険	1		1			1				1	
	福祉介護一般	4		4		1	2	1			4	
	人権問題	1		1		1						1
	計	6		6		2	3	1			5	1
成年後見制度	成年後見制度	1		1	1						1	
遺言相続	遺言	1		1		1					1	
	相続一般	5		5	1	2	1	1			4	1
	計	6		6	1	2	1	1			5	1
住居	住・終の棲家	4		4		2	2				4	
	親子同居	2		2		1	1				2	
	バリアフリ・新築	1		1			1				2	
	計	7		7		3	4				7	
家族	親子・兄弟	11		11	1	4	5	1			10	1
	嫁・婿・舅・姑	5		5	1	2	2				3	2
	計	16		16	2	6	7	1			13	3
人間関係	友人	2		2		1		1			1	1
	近隣	2		2	1			1			2	
	計	4		4	1	1		2			3	1
生きがい	退職後の生き方	1		1		1					1	
	趣味	5		5	1	1	1	2			5	
	社会参加	2	1	1		1		1	1		1	
	計	8	1	7	1	3	1	3	1		7	
婚姻	結婚相談	1		1			1					1
仕事	再就労	1		1			1				1	
終末期の選択	葬送・献体・生前契約・散骨等	1		1		1					1	
合計	58	1	57	6	22	22	7	8	1		50	7

SLA新年会のお知らせ

11月の幹事会で、会員の皆様のお目文字が出来る良いチャンスと、新年会を開催する事にしました。
新しい年を迎え、清々しい気持ちでお互いの近況や将来の夢を語り合いませんか。

1. 開催日 平成18年1月 日
2. 会場 木曾路錦店 (tel・・・)地下鉄栄下車
3. 会費 3500円
4. 時間 Am 11:30～



各部会近況報告

尾張部会

尾張部会存続の危機に明るいニュース!!!

部会代表 田中 芳雄

部会継続が危ぶまれる中、尾張部会では、今までのような会員資質の向上や、研鑽を目的にした会の設営には参加者がどうも集まりにくい現状を打破するために、志向を180度転換し、いっそ集まることに意義を求め、今後2年間は、尾張部会の広い地域的な特色を考え、鉄道沿線の会員をグループ毎にお骨折り頂き、集まることを目的に、食事をしながらのおしゃべり会〔コミュニケーション〕でスタートしました。

グループ別紹介

名鉄瀬戸線 17年11月予定 グループ代表 小沢節子 (加藤厚子、後藤都代、塚本芳美)
Jr中央線 18年02月予定 グループ代表 松本敏子 (加藤恭子、橋本陽子、梅木房子)
犬山線 18年05月予定 グループ代表 加藤愛佐子 (浅野澄子、西田時子)
名鉄本線 18年10月予定 グループ代表 奥山裕子 (田中芳雄)
名鉄津島線 18年05月予定 グループ代表 小幡淳子 (佐藤勝人、中島衣代)・・「敬称略」

各グループ代表に、会費1,500円から2,500円見当で沿線の美味しいものを探して頂き昼食をしながら情報交換を目的にスタートしました。さっそく11月には、あまり行っていない瀬戸線界隈をのんびりと散策しながら、ご馳走を楽しみにしています。

※あくまでもおしゃべりを目的とした会の設営ですから、部会員以外の希望者がおられましたら、グループ代表、または田中まで、事前にご連絡頂ければご案内致します。

岐阜部会

行事計画

代表 尾関 恵子

今年も後わずかとなり、岐阜部会の今年度の行事も半分過ぎました。岐阜市の女性センター「ころぼ講座」を利用させていただいて、SLA会員二人で頑張っています。

この写真は、「生活を楽しみましょう」という講座で、陶芸作品作りのひとこまです。いかがですか？

皆さん楽しそうでしょう。こういう顔を見ていると、色々課題が山積してもうやめようか、という気持も忘れ、また張り切って講座を開いてしまいます。岐阜は二人と書きましたが、これは表面上で、会長始め、小澤さん、中島さんその他沢山の方々に支えられて、成り立っています。岐阜部会は、岐阜だけのものではありません。SLA皆様のものです。中部シニアライフアドバイザー協会全体のものとして、誇りに思える活動をしていきたいと頑張っています。

今後とも皆様どうぞよろしくご助言、ご指導いただきますようお願いいたします。



今後の行事予定

女性センターフェスティバル参加・・・平成18年1月24日～1月29日

岐阜都会行事

- ㊦ 陶芸展示・・・1月18日～2月1日
- ㊦ 手芸講座・・・1月28日～1月29日
- ㊦ 生活を楽しみましょう
鉢植え盆栽・・・12月14日
「金華山を知ろう」講演・・・2月22日
- ㊦ 第2の人生パソコンで楽しもう
エクセル学習会8回（月2回）
- ㊦ 生活の中を手芸で飾る
干支（戌）の置物・・・12月15日
ネクタイの再利用・・・2月16日 3月16日

活性化委員会

「愛知万博と全国SLA協会交流会」報告

9月19日・20日、「愛知万博と全国SLA協会交流会」（幹事会主催・活性化委員会企画運営）がつつがなく終わりました。

このイベントに企画の段階から「ぜひ実現を」と快く賛同いただき、遠方から揃って足を運んでくださった関東・関西SLA協会の皆様、そして中部SLA協会の参加協力をされた大勢の皆様に、感謝申し上げます。

「愛知万博と全国SLA協会交流会」は、次のプログラムで行いました。

第1日 9月19日(月)

1. 「愛・地球博」自由見学
2. 「関東・関西・中部SLA協会情報交換会」15:00～17:00 ホテル ルブラ王山
3. 「関東・関西・中部SLA協会懇親会」 17:00～19:00 ホテル ルブラ王山

第2日 9月20日(火)

4. 「愛・地球博」見学

* * * * *

情報交換会：関東柿田会長の進行により、次のプログラムで話し合いが進みました。

- ① 参加者自己紹介
- ② 各協会の現状と課題について（3協会が資料を提出して、説明）
- ③ 意見交換

☆ 関東SLA協会：平成15年10月、NPO法人を設立、翌16年10月、東京都福祉サービス第三者評価機関の認証を受け、広く事業を展開しています。現在は、約300余名のSLAが所属しています。

☆ 関西SLA協会：中部とほぼ同じ規模の組織（現在の会員数60名）ですが、それだけに活動内容も検討課題

も共通点が多くありました。

- ☆ 会員数：設立当初と比べ、2協会とも、中部同様減少傾向にあります。NPO法人の関東では、SLAにとどまらず、協会の趣旨に賛同する一般個人の正・準会員、及び個人と団体の賛助会員を受け入れているとのことです。
- ☆ 特別会計：中部ではこの10月の臨時総会で、特別会計を協会活動の活性化に充てる議案が承認されましたが、関西でも昨年一般会計に繰り入れ、活動の活性化が図られているようです。
- ☆ 協会の規模や地域性により、活動の方向性はそれぞれでも、関東も関西も、活動の充実を望む思いは私たち中部と同じ。時代に即した対応をするために、なにかと努力をされている様子が窺われ、共感したり、励まされたり、有意義な時間になりました。



①情報交換会 関東・関西



②情報交換会 中部

懇親会：6テーブルに各協会のメンバーが同席しました。「情報交換会」の落ち着いた雰囲気とはがらりと変わり、ほとんど飲み放題の状態、リラックスし、打ち解けあうことができました。中部では女性会員が多いため、会合を夜に開くことは減多になく、ほとんどの場合、アルコールも乾杯程度ですが、実際は中部の皆さんもいける方が多く、いつもとは違った雰囲気になりました。

「懇親会」後は、テーブルを寄せ、コーヒーを飲みながら、しばし談笑して、お開き・・・

その後、中部の皆さんは三々五々家路につきましたが、関東・関西の皆さんはカラオケへ。中部からは木村利行さんと中島衣代さんが同行してくださいましたが、2協会の皆さんのエネルギーに脱帽です。

愛知万博：9月19日、関東・関西 SLA 協会の皆様は朝一番で来名。午前中、万博長久手会場を見学後、瀬戸会場に移り、「エイジングフォーラム 2005」（高連協主催）へ参加されました。翌9月20日、関東・関西の皆様は早朝ホテルを出発、万博会場へ向かわれました。精力的にパビリオンを回り、万博を楽しまれる一方で、「エイジングフォーラム 2005」の取材もされました。中部からも、両日とも、暑い最中、瀬戸会場を中心に、多くの方が参加されました。



③EXPO 長久手会場に

* * * * *

2日間を通し、関東SLA協会9名、関西SLA協会5名の皆様に参加いただきました。そして、中部は33人の会員がこのイベントのなんらかのプログラムに参加されました。

今回の「交流会」は、2日間にわたってさまざまなシーンで送った有意義な時間はもとより、愛知万博という、全国SLA協会の皆様をお招きするまたとないチャンスを活用できたこと。関東・関西はじめ、それぞれの事情で参加されなかった全国SLA協会へも発信ができたこと。全国SLA協会に呼びかけるという、中部としては初のイベントを開催したこと等々、今後のSLA活動活性化につながるいい機会になりました。

活性化委員会では、来春の中国研修旅行をはじめ、さまざまな企画で、幹事会ともども、SLA活動の推進をはかり、元気を取り戻してまいります。ぜひ、ご協力ください。

中国上海・南京研修ツアー

10月の活性化委員会で2006年3月2日～3月5日まで、3泊4日の中国上海・南京研修ツアーを企画しました。詳細は別紙チラシにてご案内いたしますが、多数のかたがたの参加をお待ちしております。万障繰り合わせてご参加くださいますよう。



元気印の仲間たち

後藤都代

週1回のペースで、高齢者サロン「たのし家」を仲間と開いている。6年半という長い期間、高い目標のもとにやってきましたが、今はマイペースで楽しんでいる。自己中心で、これほど個性の強い仲間がいるのかと「たのし家」が「苦し家」のごとく感じたこともあった。

今は、マイペースも個性も変わらないが、不思議と素敵で素敵な仲間になって来ている。暇もない位元気印で飛び回っている仲間たち。これからの人生楽しんでいけそうである。我ままで個性的で自然体で・・・元気印の仲間たちと。この仲間顔を出して下さっている加藤愛佐子さん。バトンを受け取ってください。

終戦60年ドラマ「火垂るの墓」を観て

桂川 豊明

今年は農作物がまずまずでした。柿も大豊作でした。作物に天気加減が良かったのでしょうか。山でも木の実がよく生ったようでサルも里には下りてこず、お陰で今年はサルの被害も少なかったようです。お猿さんも人間も食べな

くは生きていけません、何故か人間様はこの頃カロリーを摂りすぎて病気がちです。我が家では壁に「一筆啓上、肥の用心、運動欠かすな、食減らせ」と貼っておりますが、夕食時にはこの張り紙をチラッチラッと観ながらも、食べ過ぎてしまいます。ああやんぬるかな・・・です。

そんな折、先日テレビで「火垂るの墓」を観て、終戦後のあのひもじい時代を思い出しました。ドラマの清太、節子兄弟が生きた時代は、まさに私たちが必死に食を求めて生きた時代でもあります。私は田舎ゆえに空襲に遭うことはなかったのですが、食糧難はどこも同じだったと思います。あの時代、病弱な人は大変でした。私の妹もわずか4歳で亡くなりました。ドラマのなかで節子の亡骸を抱いて彷徨う兄清太の姿に、戦争という悲惨さをつくづくと思い知らされました。そして清太も神戸の町で浮浪児となって死んでしまいます。生き延びた私たちは今こそ何かをすべき時かもしれませんね。本当のところ、9条はどうしたらよいのでしょうか？

食べ盛りの少年少女時代には食べ物がなくて苦しみ、シニア年代の今は、飽食時代でカロリーの摂りすぎに悩み苦しみます。

しかし、世界に目を向ければ飽食の国は限られています。そしてドラマは“今もこの地球上に、あの清太・節子兄弟がたくさん生きている事実を知ってほしい”というテロップが最後に流れて、色々と考えさせられました。小春日和の暖かい日、軒下の干し柿を見ながら、柿の皮まで食べつくした悲惨な少年時代を、今は懐かしくさえ想い起こしております。

5期生の金田勘次郎さんお元気ですか、ご無沙汰しています。次号バトンタッチお願いいたします。

※バトンタッチされた方は、次の号でSLAの仲間に渡してください。(原稿は400字程度)
気楽にリレーを楽しみましょう。



人的環境「温かい気持ちと笑顔」に感謝して

山下 可子

1. 「自然の叡智」がテーマの21世紀 愛・地球博は、瀬戸会場、長久手会場において入場者2200万人を突破！

2005年9月19日：瀬戸会場の高齢社会NGO連絡協議会（高連協）主催の市民パビリオンの最後を飾る「エイジングフォーラム2005」は、地元的一般の方から「大変良い内容でした」と好評のお言葉をいただきました。数々の「見たり聞いたり試したり」の体験を通してそれぞれの思いを胸に、イベントは無事終了しました。

2. 変化しつつ前進を目指すSLA（懇親会・・・9月19日、PM5:00～8:00）

①思い返せば、1992年6月に、関東・関西SLA協会が設立され、続いて中部が仲間に入れていただいていた以来、13年が経過しました。早いものですね。その時々、知恵を出し合って今日に至ったことを、つい昨日のことにしみじみと思います。

②このたび全国SLA懇親会のお誘いをいただいたとき、私は活性化委員の一人として、「SLAの人的環境（人とのかかわりを持つ力）」を把握する絶好のチャンスと思い参加しました。

③今回は、関東SLA協会会長柿田昇様以下9名、関西SLA協会会長隅田禎一様以下5名、中部SLA協会会長浅野澄子会長以下24名、合計38名の参加でした。

SLAひとりひとりが現実を認め、対等の関係で今の行き方を見直す良い機会になったと参加なさった方々は、みなさん同じ思いであったように感じました。短時間でしたが本音で語り合える事が出来たと思います。

夕食を通して、懐かしい方々と声を掛け合う事が出来、苦しかった事、楽しかった事が思い出され、粘り強く積み重ねた実践が、楽しい今日の懇親会につながっていると実感した次第です。

④迅速に企画実行に移してくださった会長及び幹事、活性化委員会の関係各位に心から感謝します。(若いころに学んだ「チャンスは前髪しかない!」その通りでした) SLAは評論家ではない、シニアライフアドバイザーにふさわしい実践化であることの意味を体験できました。

3. 懇親会風景・(司会：中部幹事 小山静子さん) 8テーブルごとに情報交換、報告。

関東：宇田津さん 今日あるのは、先輩の努力の成果。多くの人々に感謝して前進を。
関西：南橋さん SLAになって活動はまだまだであるが、これを機会に努力したい。
関西：俵さん 手品：プロ並みの名演技に拍手喝さい。会場がわっと盛り上がった。
中部：浅野さん 関西の手品に対して挑戦、俵さんの誘導でハンカチを使った手品が見事成功。さすが、レクリエーションで鍛えた腕前を発揮。一気に会場が和んだ。
関東：鈴木さん アテネオリンピック聖火ランナーに選ばれてみごと東京都内を力走。
関東：中島さん 成人病を見事克服して、SLAとしてご活躍中の報告あり。
その後、中島さんから「社会福祉協議会相談員」としてお会いでき大きな収穫でした。中部の皆様によろしくとの、感謝のはがきをいただきました。

4. おわりに

今回の懇親会運営に当たって、浅野澄子会長、幹事の小山静子、荒川輝子、青柳と志子、杉浦玲子、小沢節子、長坂朋子、丹羽一夫諸氏を始め、きめ細かく活動していただいた活性化委員の今泉治子、木村利行、中島衣代諸氏に心から感謝します。会員数が減少しても、ささやかな会であっても、中部に根付いている「おかげさま、ありがとう、知恵を出し合い、支えあって共に生きる」実践力が大切であると思います。

お互いに健康第一。暖かい気持ちと笑顔で前進したいと願っています。

万博賛歌

加藤厚子

緑豊かな自然をバックにくり広げられた愛・地球博。

深く心に刻み込まれたのは、環境問題でした。

グローバルループに一步足を踏み込むと、会場が一望に眺められ、その日の雰囲気の手にとるように伝わってきて、猛暑の中を癒してくれたミストにも感謝でした。

長く歩いても疲れを感じなかったのは、木のぬくもりの優しさを伝えてくれたからでしょう。

緑の壁・バイオラングからは、生きている息吹を感じ、思わず深呼吸していました。モリゾー、キッコロも微笑んでいました。

瀬戸愛知県館で頑張っていたコナラの木は、館内でしっかりと根つき、むささびの棲家を提供して、自然と生き物の一体感を自ら実践してくれました。

まさに自然と人、動物との共生を発信していたように思えたのです。

EXPOエコマネーとの出会いも感激でした。

日常の買い物でレジ袋を断り、ポイントを貯める。ポイント数に応じて環境に優しい商品と交換し、森林事業の寄付金として協力出来る市民活動です。(ちなみにレジ袋一枚断るとCO₂が100g削減される)

個々の力は微力でも、結集すれば巨大な力です。地球に少しでも優しさと思いやりの心をと、買い物を楽しみながらCO₂削減に、協力しています。

万博最終日、ボランティア、アテンダント達で来場者をお見送りする場では、とても素晴らしい笑顔を頂きました。苦しい時もあったけどボランティアをやってよかった。

サヨウナラ！アリガトウ！の握手、歓声は忘れません。子供たちの満足気な顔、顔。キラキラした眼。万博を体感し、充実した表情にこの子達は将来、何かを発信してくれる。地球人としての明るい未来を確信しました。

情報交換会に出席して

加藤 鋳美

「愛・地球博」を機に、全国SLA協会交換会交流会が、9月19日“ルブラ王山”で開催された。中部SLA協会の活動活性化に向けた検討会が立ち上げられた年に、まさにグッドタイミングな企画であったと思う。

情報交換会では、関東SLA協会理事長の進行で各協会の現状と課題について説明があり、その後討議・意見交換が行われたが、大変有意義な情報交換会であったと思う。

関東・関西各協会の説明の中で、現状の共通課題として取り上げられていた事は、協会員の減少と、活動の活性化をどうするかという、わが中部SLA協会がいま抱えている問題に、共通するものであった。

また、協会の単独事業にとらわれず、他の団体とのネットを広げ、共通事業なり協働事業を積極的に進め、新事業展開を図ることが大切である。

もちろん、個人活動、地域活動や自主グループの支援体制を計っていくことも忘れてはならないこと。関東ではNPO法人として登録し、活性化を図っていることも報告され、関西も大いなる関心を示されていた。限られた時間であったが、いま中部SLA協会の抱える課題が、関東や関西も同様な検討課題として、前向きに対処されている事が感じられた。今後も機会があれば、全国のSLA協会の情報交換、共通課題検討の場がもたれる事を期待したい。

編集後記

連れ合いが肝臓癌で2ヶ月入院していました。

若いころの輸血により、C型肝炎、肝硬変、肝臓癌になったのです。

手術後、胸水と腹水が溜まり、医師に生還率50%と言われた夜は、悶々として眠れませんでした。

でも、退院できました。現代の医学は日進月歩、10年前でしたら手術も出来ない箇所だったのです。

先生のご努力に感謝しつつも、無事家に帰ってきた連れ合いと、苦しかった事は忘れて一戦を交える事も??!

喉もと過ぎれば何とやら、私ってだめなカミさんなんだ。

幹事の方々にご迷惑をかけましたが、温かく見守っていただきありがとうございました。(S.O)